

新年度予算にみる 勝山市の動きを チェック!



平成25年度の予算は、国が示した日本経済再生のための緊急経済対策による大型補正予算を活用し、平成24年度3月補正予算として前倒しした公共事業費(約9億9,500万円)を加えた予算総額は、約125億100万円(前年度比5.5%の増、金額にして約6億5,300万円の増)で、過去4番目の規模となっております。

このような平成25年度当初予算について、市議会ではどのような審議がされたのか。特徴的な内容を「特集」しました。

特集 1 ふるさと創造プロジェクトについて

今回はこの中の、現在の「まほろば」から精進坂前にかかる一体の整備計画である、「白山平泉寺全国発信プロジェクト」について、問題が提起され、議論が交わされました。一つは、史跡白山平泉寺旧境内整備基本計画との整合性についてです。

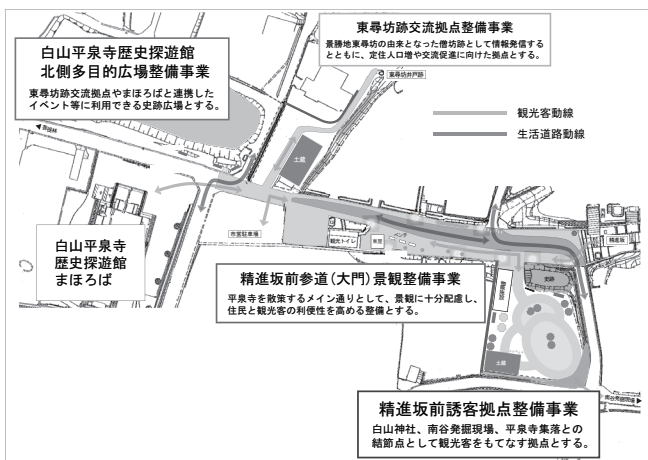
昨年からのこのプロジェクトは、新規計画として提案されているように議会では受け止めており、その整合性について一般質問においても疑問が出されてきました。今回、初めてこのプロジェクトが整備基本計画に基づいて行われるものであるとの見解が示されました。そこで改めて、その整合性に問題があるのではないかとの議論が交わされ、今後とも協議されることになりました。

二つめは、「全国発信プロジェクト」そのものの内容についてです。

このプロジェクトでは、建物を再整備して観光案内や休憩施設として、飲食物販施設を新築するとともに、道路の景観整備を行うこととされています。またソフト事業として、インターネット等のIT技術の活用推進を行うことにより、知名度の向上を図ることも計画されています。

議会では、施設の整備について、建物のあり方、整備の意義、方法、進め方について、ランニングコストを含めて、今後、大きな負担になる可能性があるため、運営方法を決定した上で整備計画を進めるべきではないか等の意見が出され議論となりました。

また、プロジェクトを推進する担当部署について連携強化を求める意見が出されました。



特集 2 エコ環境都市推進事業 雪氷熱エネルギー利活用の研究



雪氷熱エネルギーを活用した保冷库

雪氷熱エネルギーの利活用に向けての研究および導入に向けた検討をする産学官一体となった協議会を設置することや、雪氷熱エネルギー利用の導入促進・事業化を図るため、かつやま恐竜の森で雪室を作り、保冷库等として活用するモデル事業を実施する予算が計上されました。

議会からは、当該事業を実施するに当たっては、すでに雪氷熱エネルギー利活用法や雪室の設置事例が多く報告されているので、利活用に興味を持つ人を集め、情報を整理し勝山市で行う場合の効果について、専門家から指導を受ける研究会にすべきとの意見が出されました。